

ぼだい樹

2015/3/21 発行

寺宝展特別号

本日は、お大師様の日です。お大師様とは、弘法大師（空海）です。真言宗宗祖弘法大師は、承和2年（835年）3月21日にご入定されました。当院は毎年「お大師様の日」に寺宝展をしております。

宝寿院のお大師様

真言宗では、お大師様の恩恵への感謝を表す為に御影（みえい）（おすがた）を飾り、生身のお大師様として法要を行います。



3月21日の入定の日に法要を、正月の21日に行う法要を月並御影供といっています。21日はお大師様の日と覚えて頂き、大師堂にお参り下さい。

宝寿院 略縁起

弘仁九年（千百有餘年前）弘法大師が熱田に参籠されて津島に來られた折、疫病が流行し、庶民の苦しみを哀れみ、牛頭天王の御社の脇に薬師如來を奉安し病氣平癒を祈願されました。これが 天王社（現津島神社）神宮寺の基となりました。

宝寿院は僧坊として、天王社に出仕しておりましたが、明治初年神仏分離令により、薬師如來を始め、仏像仏画経巻すべて、当院に移されました。

現在昔日の面影は変化しておりますが、信長・秀吉の信仰を一心に受けられました。厄除け薬師の霊跡は今もなお益々輝きを増し、厄難は悉く除かれ、病氣平癒・災厄消除等所願成就いたします。

本日展示の「神仏分離顛末記宥三日記」（津島市指定文化財）は、時の宝寿院住職宥三によって書かれ、神仏分離令廢仏毀釈に苦悩しながら、本尊薬師如來を守り抜いた様子がうかがい知れます。

写経の勧め

写経をすることによって、ご自身のありのままの心をつつめ、安らぎのひとときを感じる事ができます。

写経は般若心経を一文字ずつ丁寧に写すことで、仏さまの功德をいただきます。文字一つ一つが仏さまそのものとも言われています。日常を離れた心静かな時間は、あなたの心を豊かにしてくれます。自身の祈願やご先祖様の供養のためにも、写経は大切な修行であるといえます。本日は特別に写仏も体験できます。是非この機会に。

宝寿院毎月行事

- ★ 一・八・十五日 十時護摩祈禱法話
- ★ 二十一日 十時 弘法法要 写経会
- ★ 二十四日 十時 水子供養

その他随時予約

- ★ 安産祈禱
- ★ 運勢・家相相談
- ★ 命名
- ★ 車の交通安全祈禱
- ★ 地鎮祭・完成式出張